曹操

寧ろ我人に負くとも、人をして
我に負かしむる毋からん

魏

2023年度 文学部シンポジウム

三国志ワールドの展開

その時間と空間の広がり

呉

誓うに共に死するを以てす

関羽

蜀

鞠躬尽力、死して後已む

諸葛亮

とき
2024年
3月16日(土)
10時30分～16時00分

ところ
二松学舎大学
九段キャンパス1号館
中洲記念講堂
東京都千代田区三番町6－16

参加無料

開催形式
対面・オンライン併用
オンラインでのご参加は、3月14日㈭21時までに以下のQRコードまたはURLよりお申し込みください。開催日までにオンラインのURL等をお送りいたします。当日直接ご来場される方の事前申し込みは不要です。

https://forms.gle/K2TGhts2SK2SXHBQA

・東西線、半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅2番出口……徒歩8分
・JR総武線、有楽町線、南北線、都営新宿線「市ケ谷」駅……徒歩15分
・半蔵門線「半蔵門」駅5番出口：徒歩10分
・JR総武線、有楽町線、東西線、南北線、都営大江戸線「飯田橋」駅……徒歩15分

会場には駐車場はありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

■開会の辞▼10時30分
江藤茂博（二松学舎大学文学部長）

■趣旨説明▼10時35分
伊藤晋太郎（二松学舎大学教授）

■基調講演▼10時50分～12時00分
日本における「三国志」物語の受容
――横山光輝『三国志』を中心として
渡邉義浩（早稲田大学教授）

■報告▼13時00分～15時00分
曹操の虚像と実像
牧角悦子（二松学舎大学文学部教授）
関羽の視覚的特徴の形成と受容
伊藤晋太郎（二松学舎大学文学部教授）
現代中国における観光資源としての「三国志」
上永哲矢（紀行作家／歴史ライター）
江戸時代における「三国志」文化の受容
長尾直茂（上智大学文学部教授）

■総合討論▼15時15分

■閉会の辞▼15時55分
町泉寿郎（二松学舎大学文学部中国文学科主任）

問い合わせ◉二松学舎大学文学部シンポジウム実行委員会▶▶▶▶▶▶▶▶▶メール◉ nishogakusha.bungaku@gmail.com